

講義名	オ)19-観光コミュニケーションA/15-観光英語A			授業形態	
担当教員	中川 典子	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

グローバル社会の進展に伴い、海外へ旅行する日本人、そして、海外から来日する外国人観光客の数は増加の一途をたどっている。また、日本における観光産業の充実を図るための諸施策も大きな課題となっている。特に、旅行・観光・ホテル・レストランサービス等の業種にあつては、英語の運用能力だけでなく、業界専門用語や独特の言い回しなど、業務遂行に必要な英語力を持ったプロの養成が急務であり、このような能力をもつ人材への高い需要がある。本コースでは、ツアーリズムやホスピタリティビジネスなどに興味のある受講生が明確な目的を持ち、ツアーリズムのプロとして必要な英語を楽しくながら学べる授業を編成する。「英語を学ぶ」というよりも、「英語で“観光業務を学ぶ”」という姿勢で取り組んで欲しい。上記は「観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てる」という観光学科のディプロマポリシーに貢献するものである。なお、コロナウイルス禍における担当講師の事情により、このクラスではオンデマンド型の授業を実施する。

到達目標

- 「旅行業」「航空業」「ホテル業」といった観光産業に必要な英語表現を習得できるようになる。
 - 観光コミュニケーションに必要なリスニング、スピーキング、リーディングのスキルに加えて、観光産業の基本的な知識を得られるようになる。
 - 講師とのオンデマンド上のロールプレイ演習により、実践的な英語コミュニケーション力を養えるようになる。
 - 演習を通じて、文化の多様性を理解し、受容できる異文化コミュニケーション力を養えるようになる。
- 上記の到達目標は、海外の顧客満足を得るために必要なホスピタリティと英語によるコミュニケーション力を培い、観光英語検定の受験に必要な知識が得られることから、「観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てる」という観光学科のディプロマポリシーに達成に役立つ。

提出課題

- 観光英語検定3級の単語集から、毎回1ユニットに解答し提出する。
 - テキストの内容に基づく演習問題からなるワークシートを提出する。
- オンデマンド型という授業形態上、提出課題はその日の授業を受講する数日前に提出していただきます。ほとんどの課題は授業を受けるための予習と理解してください。なお、課題には採点をとまいません。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題の解答をスライドで提示する際、受講生にとって特に重要度の高い英文法や英語表現について詳細に解説する。

評価の基準

- 課題 (50%)
- クイズ (20%)
- 定期試験 (30%)

履修にあたっての注意・助言他

前述のように、このクラスではオンデマンド型の授業を実施します。授業日の前日に音声付き講義資料のURLを掲載したYouTubeのURLをRyuka Portalの「講義連絡」に提示するので、インターネットに接続できる環境を整えておいてください。なお、資料を指定したい入りのために、PDFの講義資料を「講義連絡」に提示します。教科書は必ず購入してください。当該購入しているという前提で授業を実施します。教科書がないとにより生じる不都合は自己責任となります。オンデマンド型の語学の授業という性格上、効果的な授業運営のために、受講生の皆さんには授業に先立ち、相当量の課題を行っていただきます。授業日に「講義連絡」に次週の授業の準備のための課題を提示し、授業日の数日前までに提出していただきます。第1回目の授業の課題については第1回目の授業が開始される1週間ほど前に「講義連絡」に提示します。購入した教科書の到着時期を考慮して、Unitについては「講義連絡」に提示しますが、いずれにせよ、受講する人は迅速に教科書購入の手続きをとってください。なお、課題はWord形式で提出していただきます。スライドからの写真やテキストでの提出は認められないので、インターネット接続とともに環境を整えておいてください。毎週、通常の授業実施時間の約15分間を使うクイズを実施します。クイズへのアクセス方法については第1回目の講義資料で説明します。提出課題に関する連絡はRyuka Portalの「講義連絡」を通じて行います。提出物の期限後の提出は認められません。その他の連絡もすべてRyuka Portalの「講義連絡」を通じて行いますので、必ず確認してください。

教科書

.English for Tourism Professionals.	Reiko Fujita	National Geographic Learning	2,400	978-4-86312-356-4
-------------------------------------	--------------	------------------------------	-------	-------------------

参考図書

その他

適宜、「講義連絡」に提示する。

授業計画

- 回 授業計画
- Course Guidance& Unit 1 Recommending a Tour (1) Vocabulary & Listening Exercise
 - Unit 1 Recommending a Tour (2) Reading & Pair Work
 - Unit 2 Taking a Tour Booking (1) Vocabulary & Listening Exercise
 - Unit 2 Taking a Tour Booking (2) Reading & Pair Work
 - Unit 3 Escorting a Tour (1) Vocabulary & Listening Exercise
 - Unit 3 Escorting a Tour (2) Reading & Pair Work
 - Unit 4 Welcoming International Tourists (1) Vocabulary & Listening Exercise
 - Unit 4 Welcoming International Tourists (2) Reading & Pair Work
 - Unit 5 Taking an Airline Reservation (1) Vocabulary & Listening Exercise
 - Unit 5 Taking an Airline Reservation (2) Reading & Pair Work
 - Unit 6 Giving Flight Information (1) Vocabulary & Listening Exercise
 - Unit 6 Giving Flight Information (2) Reading & Pair Work
 - Unit 7 Helping Passengers Check in (1) Vocabulary & Listening Exercise
 - Unit 7 Helping Passengers Check in (2) Reading & Pair Work
 - Course Review

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：観光英語検定の課題やテキストの補助教材として講師が作成したワークシート、教科書の演習問題に取り組み、（2時間）
 復習：その日の学習内容の課題（テキスト内容のリスニング、会話文やリーディングセクションの音読を含む）およびクイズで間違えた箇所の確認、等）（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

このクラスは以下の点において、「観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てる」という観光学科ディプロマポリシーに沿ったものである。
 (1) 海外の顧客満足を得るために必要なホスピタリティと英語によるコミュニケーション力を培うことができる。また、授業では観光英語検定の受験に必要な知識が得られるため、観光業界に就職した際、それを活かすことができる。
 (2) ホテルやアerial関連企業で就業する際に必要な英語コミュニケーション能力だけでなく、特にホテル業界で仕事を遂行するうえで必須の知識も習得できるため、「ホテル業」といった観光関連産業や地域の観光団体に就職した際にも実践することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

オンデマンド型授業ではあるが、音声付講義資料の中で、会話文の役割演習を講師と実施できるようにすることで、一定の双方向性授業を目指す。

実務経験の有無及び活用

備考

再掲しますが、このクラスではオンデマンド型授業を実施しますので、パソコン等で視聴できるように準備をしておいてください。提出物はすべてWordファイルで提出していただきます（それ以外は不受理、期限厳守）。講義資料や提出課題はRyuka Portalの「講義連絡」に提示します。課題の提出は非常に重要です。その他、授業に関する連絡は「講義連絡」を通じて行いますので、必ず確認してください。